

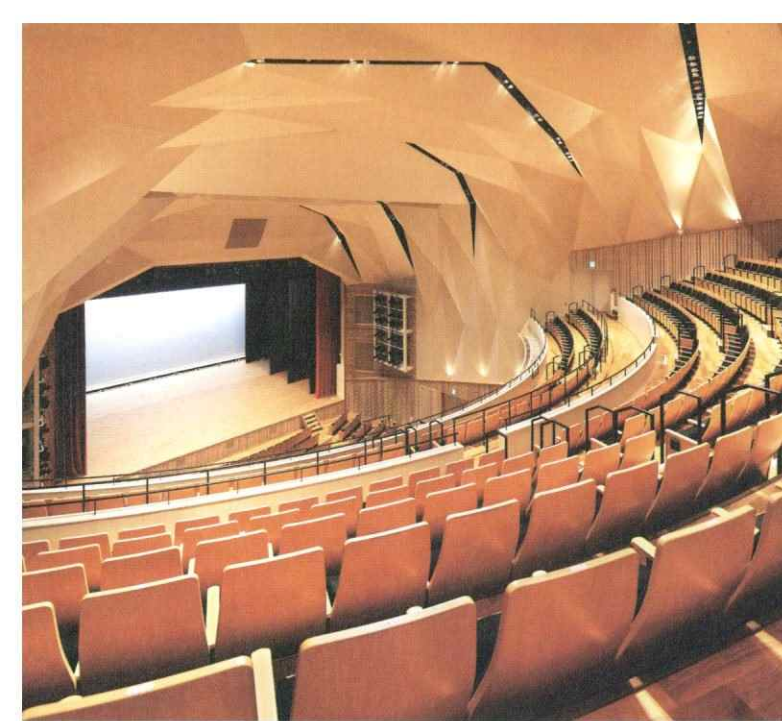


Ai SEKKEI

RECRUITMENT 2024



AiHDG



若い技術者の豊かな感性と向上心を設計に込めて。

2024年度「あい設計」は五職種の新入社員を採用します。

構造設計技術者

耐震構造や特殊構造(免震・制震)の設計、耐震診断・補強設計など、安全・安心の要となる専門性の高い分野のスペシャリストを目指す向上心を持った人材を求めています。

【構造設計】【構造解析】
【耐震診断・補強設計】

総合設計技術者(意匠)

企画から設計、工事監理まで幅広い役割を担う、感性豊かな人材、BIMやプログラミング、シミュレーションなど、最先端テクノロジーを活用したデジタルデザインを担う人材を求めています。

【意匠設計】
【デジタルデザイン】
(BIM、プログラミング、シミュレーション)

設備設計技術者

利用者の快適性、周辺環境や地球環境への負荷低減、施設の持続的な運用など、設計を通じて付加価値の高い建築や空間・環境を実現する志を持った人材を求めています。

【電気設備設計】
【空気調和・衛生設備設計】
【環境コンサルティング】

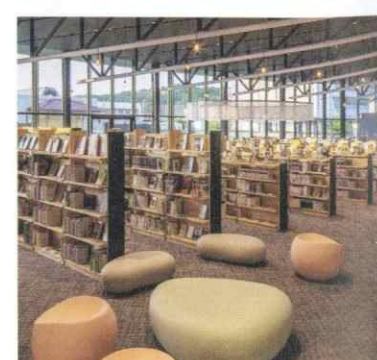
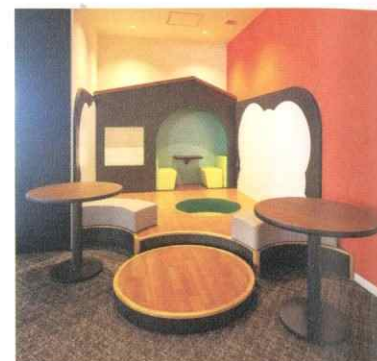
都市・地域計画技術者

まちづくり・地域計画・ランドスケープなど、建築を取り巻く都市や地域などの空間・環境・景観の計画や設計を、幅広い視点で取り組める人材を求めています。

【都市・地域計画】【外構・ランドスケープ】

CAD・BIMオペレーター

建築工事に必要な設計図書を正確かつ丁寧に作成する責任感のある人材を求めています。必要な技術を身に着ければ各分野の設計技術者への道も開けます。



構造設計という専門性の高い分野を基軸に、業務を展開しています。

当社は構造設計事務所としてスタートし、現在は意匠設計、設備設計を含めた総合設計事務所として全国展開しています。専門性の高い構造設計を基盤に安全性、経済性、機能性、デザイン性すべてにおいて高い付加価値を持った建築をお客様にご提案しています。当社のもう一つの特色は若手技術者、ベテラン技術者が協力し、助け合いながら質の高い仕事をする事です。建築に携わる喜びを感じることでできる環境で共に成長していきましょう。

総合設計

高い技術力に基づく構造計画に裏づけられた、機能的かつ快適で、創造的なデザインを提案します。

構造設計

豊富な経験と高い技術力に基づき、建築物の強度、耐震性、耐久性を確保し、豊富なデータと力学的な検証で安心を提案します。

耐震診断

耐震性能が低い既存建築物を診断し、施設の安全性や快適性を高めるための最適な補強工法を提案します。



- 《基本理念》
- 01 建築総合コンサルタントとして、社会に貢献する企業であり続ける。
 - 02 常にお客様の立場に立ち、高い技術力と企画力で、より良いものを提供する。
 - 03 収益性を高め、内部留保に努めることで、より安定した成長をめざす。

求められる専門性に プラスアルファを盛り込む エリアを越えたチームワーク

庁舎設計の2つの事例から あい設計の姿勢と環境を読み解く

警察や消防、自治体本庁舎などの庁舎施設は、市民の生活を支え、数多くの人々に利用される施設でありながら、一方では専門性の高い機能やセキュリティを併せ持っています。その両面の機能を備えながら、周辺環境への調和、環境性能の確保、また、緊急時には災害応急対策活動拠点としての安心と安全を確保するなど、高度な要件の達成を求められます。吹田市北部消防庁舎等複合施設、奈良県警生駒警察署新庁舎という、最新の2つの庁舎の設計を進めてきた大阪支社を中心とするメンバーにスポットを当て、「あい設計」の庁舎建築への取り組みの歴史と、近畿地区の建築設計業界の現状、庁舎施設の設計における大切なポイントなどをインタビュー。「あい設計」の地域や世代を越えた協力体制の考え方、設計と向かい合う姿勢、設計の原動力となる想いなどを読み解きます。



意匠設計
佐藤 彰洋

構造設計
三谷 学



意匠主任
竹本 和弘

構造設計
小田 哲也

BIM支援
加藤 千晶

意匠設計
神田 周二

景観と調和しながら、必須条件の専門性を確保



エリアを越えて 庁舎案件の実績を蓄積

一まずは「あい設計」の庁舎設計への取り組みについてご説明をお願いします。

佐藤 「あい設計」が構造設計事務所として創業して40年を超えました。意匠設計を手掛けて約30年、「構造に強い総合設計事務所」を目指して約20年になります。庁舎の設計については2000年代前半から、1,000~3,000㎡程度の中・小規模庁舎の実績を上げてきましたが、5,000㎡を超える大規模庁舎については、受注意欲の高い大手組織事務所や老舗設計事務所との競争が激しく、特に警察・消防・自治体本庁舎などの高い専門性を求められる施設については、実績による競争力不足の状態が続いていました。2010年代に入って、規模にかかわらず数多くの事務所・庁舎の設計について、プロポーザルや競争入札での受注機会が増加し、庁舎においては警視庁四谷警察署、愛媛の宇和島市本庁舎、

福岡の朝倉市庁舎を、事務所や金融機関についてはホーコス株式会社新本社や関東電気保安協会湘南事業所、中国労働金庫本店、飯能信用金庫飯能中央支店などを受注。10年弱をかけて地道に実績をつくりながら、事務所・庁舎施設の設計経験を蓄積してきたという状況です。三谷 競争入札やプロポーザルでは、書類選考時に実績を複数提示する必要があり、以前はそこに記載できる実績数が少なく、応募すらできないというのが

実情でした。この10年ぐらいで実績数が増えてきて、チャレンジが可能となりました。佐藤 消防庁舎も実績がありませんでしたが、私が九州で勤務していた時代に、入札ではありましたが数件の実績を作ることができました。実績があれば次は競争入札やプロポーザルに応募できます。競争入札やプロポーザルに勝利して受注し、一回り大きな案件に挑戦する。そういった長年の努力が最近になって実を結んできたと思います。



一近畿圏における「あい設計」の現状について教えてください。三谷 「あい設計」はもともと広島県の呉市が発祥の構造設計事務所としての歴史を持つ会社ですが、近畿圏では、協力業務として他の設計事務所との協働設計の事例は数多くありました。しかし、元請けの設計事務所としての展開は関東圏に比べると

歩みが遅く、大手設計事務所の本社や支社がひしめく市場でもあるため、当社は実績がないに等しい状況でした。私が大阪支社長になった時期に、今回の事例となる2つの案件を運良く受注することができ、中国エリアのスタッフに応援してもらいながら、大きな実績を実現しようとしている状況です。



佐藤 近畿圏の市場も大きいですから、会社としても力を入れたいという思惑がありますが、大阪支社だけでは社員数も少ないので、支社を越えて協力しようという機運が盛り上がった時期でもありました。私は広島支社勤務ではありますが、九州、四国、大阪、東京等の案件も担当しています。何か得意分野があれば他のエリアの仕事にも携われることが、従来からの当社の強みでもあり、それが今回は功を奏したのだと思います。

機能を可視化し 防災への関心を高める

一では、今回の事例を見ていきましょう。まずは吹田市の北部消防庁舎等複合施設について、受注から設計までの流れをお願いします。

三谷 こちらの案件は一定規模以上の免震構造建物の実績のみを問われる入札案件でしたので、「ぜひ挑戦してみよう」ということで参加しました。参加へのハードルが低いゆえに応募数も多く、大手事務所も含めて17社もの応募があったと聞いています。結果として、二番手と数万円という僅差での受注となりました。

佐藤 消防庁舎の設計経験のある私に声がかかり、広島から大阪まで毎週通って発注者や利用者へのヒアリングや打合せを重ねながら提案内容や設計内容を固めていきました。この案件は、消防署施設だけではなく、周辺5市2町の共同消防指令センター、土木部庁舎、学校施設を含む教育センターの総合施設であり、さらに一般的には別棟になることの多い消防訓練施設も建物に組み込んだ複合施設となっています。配置の特徴として、阪急南千里駅のホームから消防の訓練風景が見えることが挙げられます。「消防活動を市民に身近に感じてほしい」という要望もありましたし、敷地面積が限られることから、建物の中央にピロティを設けて訓練エリアにしています。阪急南千里駅のホームに立つと、ちょうど目線の高さに救助訓練用のロープがある、つまり訓練風景を

市民に見ていただくよう意図しています。ただし、上の階には体育館を含む教育センターなど大きなボリュームの階層があり、その下に大きな空間をつくるため、構造設計は苦勞しました。

三谷 この建物の構造上のもう一つの大きな特徴は「免震」です。緊急時には災害対策本部となり、119番通報がすべて本施設に届く形となります。どんな災害時でも施設の機能維持が必須要件ですので、免震構造を採用しています。その上で、さきほどの訓練用のピロティや、消防車のはしごを伸ばせるだけの大きな空間を確保するために、トラス架構やCFT柱を採用しています。



佐藤 免震を実現した上で、地下駐車場を確保するため、10m以上地下を掘るわけですが、敷地は阪急電鉄の軌道に隣接しています。10m近く地面を掘ると、地盤が緩んで線路に影響を与える可能性があるため、SMW工法という堅牢な山留め壁を敷地境界の地中に施工しながら地下を掘り進めています。

竹本 私は現在、現場でそれを工事監理しています。線路の変位が限界値を超えると電車の運行が止まるということで、地盤の変位量を毎週計測しながら慎重に工事を進めています。

一構造設計には、当時入社2年目だった小田さんも参加されたそうですね。

小田 社内でも「担当したい人いますか?」という話があり



「吹田・免震・消防署」と聞いて、思わず「やります!」と手を挙げました。これだけの規模の設計に携わるのは初めてのことで、わからないことが多く、参考図面や参考図書を調べながら図面を書いていきました。竹本 施工が始まってからも、小田さんには現場と一緒に現場を見てもらっています。いろんな刺激になっていると思います。

小田 大阪支社に勤務していますが、大阪の物件があまりなくて、現場を見た経験はありません。だから、今回は実際に自分が設計したものが実現していく過程が見られることは勉強になりますし、ありがたいです。

一意匠的な特徴についてお聞かせください。

佐藤 敷地に面する道路は東西南北に街路樹が並び、特に西と南にはイチヨウ並木が連なっていました。今回、消防車が出動する箇所はイチヨウ並木を切らざるを得ない前提でしたので、建物の外観に並木の連続性を意識するものを盛り込もうと考えました。そこから生まれたのが、外観を印象付ける縦ルーバーです。カーテンウォールのバックマリオンを地元産材による木製にして、イチヨウ並木と繋がり、木製の縦ルーバーが目に入るようにしています。意匠





性のみではなく、西日対策にもなっています。

竹本 千里ニュータウンは、大阪では閑静な住宅街として認知されていますから、景観に対して市の方も敏感で、色彩の専門家や大学の先生など、様々な専門家が参加される景観アドバイザー会議も開催されましたので、周辺環境に配慮した意匠を目指しました。佐藤 今回は設計の早い段階からBIMを活用したことで、外観の様々なパターンを検討することができました。

加藤 BIM推進室(現BIM統括室)が立ち上がったのが2019年。ちょうどこちらの案件が決まった時期です。最初に建物のモデルを立ち上げたのは佐藤さんで、それに後から私に加わる形で、外構や周辺敷地の作成を担当しました。

佐藤 私は当初、この案件の外観検討のために、自分自身でモデルを立ち上げていました。途中から専門的な部分は加藤さんに手伝ってもらいました。当初は点景やパーツがまだ少なく、消防車なども一から

つくってもらいました。夕景や夜景もBIMで検討を重ねて、外観から見える室内の照明の光り方のスタディも複数検討して、交差点に面した角の部分だけを暖色系の明かりとして、それ以外は蛍光色にするなど、BIMを用いて検討を繰り返しました。

竹本 今回のBIMを使用した提案は、吹田市の方々にも好感触でした。

佐藤 吹田市では、この案件を担当する専門チームを編成されていたこともあって、かなり熱心に意見・要望をいただき、それにお応えして進めました。教育センターには小中学生の子どもたちも来ますし、さきほどの消防訓練だけでなく、建物自体にも興味を持ってもらいたいという意向もあって「機能を見せる」というコンセプトで、配管がそのまま見えたり、シースルーのエレベーターにしたりと、あえて機能を見せるデザインになっています。—今回、竹本さんが常駐して現場の監理も担当しているそうですね。



竹本 普段は設計業務が中心で、監理業務は専門の部署が担当しています。今回は建物規模も大きいこともあり、設計者が常駐することで、現場で設計の意図を直接伝えながら、設計図通りの建築物を実現するという使命を持って監理をしています。当社の取り

組みとしては、設計者が現場を実際に見て、竣工までしっかりと監理をするスタイルが増えつつあります。

独特なゾーニングと地域性を活かした外観

—続いて、奈良県警生駒警察署新庁舎の事例について見ていきましょう。

神田 生駒警察署に関しては、設計事務所の実績や規模などを総合的に判断する「総合評価」で特定いただいた案件です。大手組織事務所とも競合する中で、東京での警視庁四谷警察署の実績が評価されたと聞いています。大阪支社で本件の受注が決まった後、意匠設計担当として山口支社の私に打診がありました。私には警察署の経験はありませんが、以前東京支社に勤務しており、四谷警察署の設計担当からノウハウを受け継ぐ形で進めました。警察署の設計で特殊なのは、複数の動線計画の整理が必要なことです。一般の来庁者向けのゾーン、警察職員のゾーン、そして留置・護送のためのゾーンを入り口も含めて区別しなければなりません。特に留置ゾーンは一般の方からは見えないことが大原則となっています。また、これは消防署とも共通しますが、緊急車両の出動が最優先事項となり、一般来庁者の駐車・来訪エリアと警察職員エリアの交差がない

よう気を配る必要があります。建物自体はシンプルな四角形ですが、このゾーニングが決まるまで、十案以上のプランを出して検討いただきました。

竹本 こちらは吹田の事例と違って、敷地のそれぞれの方向に道路があるため、どの角度から見れば正面に見えるか、90度回転したほうが良いのでは?…などのご要望もあって、それだけの提案数になりました。



神田 免許更新などで来訪される方が、メインの道路側の壁面サインを見て警察署だと認識し、スムーズに来訪できることを重視して、エントランス廻りに大庇を設置しました。また、環境に配慮して南面を大きく確保するなどを加味して、今のプランに落ち着きました。吹田と同じように、こちらも警察署の様々な部署から選抜された専門のチームが結成され、一緒に設計を進めていきました。最初は叱咤激励を受けながらでしたが、最終的には満足いただける設計に辿り着きました。

—意匠や構造の特徴についてお聞かせください。

神田 奈良県には伝統的建築物が多数ありますし、それを受け継いだ公共建築物の事例も多くあります。この生駒警察署も奈良県の建築物として残っていきますので、伝統的な和風様式の要素を取り入れて、外観に格子組子のデザインを取り入れています。また、茶道で使われる茶筌はここ生駒市が発祥地で、生駒警察署でも「むちやせん」として茶筌にかけた交通安全のキャッチフレーズを使用しています。この茶筌のイメージを妻側の細いラインで表現しています。また、警察署は災害に強く安全・安心であることも重要な要素であるため、力強さを感じる規則正しいアウトフレームのデザインとし、意匠・構造の調和を図った設計としています。

—この事例でもBIMを活用されたそうですね。

神田 当初、山口支社でBIMを活用して建物の形を検討していました。しかし、表現力や質感で不慣れな



面があり、広島BIM統括室に行って指導してもらいました。

加藤 先ほどの吹田の事例の後に、この案件が始まりましたが、神田さんが早い段階で研修に来られて、惜越ながら、指導させていただきました。私も様々な活用方法を学んでいる最中でしたが、せっかく来られたのだから、一つでも多くのものを得て帰ってほしいとの想いで取り組みました。神田 早い段階から、クライアントに外観やサインを検討していただくとうると、やはりBIMは精度が高く、有効であることを実感しました。

この経験を生かして

—皆様のご経験を踏まえて、庁舎設計のポイントや、今回の事例で感じたことを教えてください。



神田 通常は警察署の内部、特に留置施設を見ることはできませんが、今回は実際にいくつかの建築事例を拝見し、職員の方々にも利用方法を伺ったりして、とても貴重な経験になりました。また、これにより、これまでの庁舎関連のプロポーザルなどでの敗戦理由も、こうした生の声を聞いていなかったことと

結びました。専門性の高い庁舎施設には、絶対に守るべき基準や機能があり、コストや様々な制約がある中でも、それらを実現する粘り強さが重要です。今回の経験を今後のプロポーザルや設計などに繋げて、より大規模な案件に携わっていきたくと思っています。

佐藤 庁舎の設計は、必要とされるそれぞれの機能ははっきりしており、まずは機能ありきで、そこに設計者としての独自性を付加していくイメージです。今回の消防署の事例では「機能そのまま見せる」という独自性がデザインに融合した建物になったと思っています。そして、設計は設計事務所だけでやっているのではなく、発注者や利用者と一緒にやるものです。ご要望を上手に引き出して設計に反映するためにはコミュニケーションが大事であり、発注者や利用者との良好な関係は良い建物の実現につながります。私は意識して自由に意見を言い合える関係を築くよう努めています。

また、設計には多くの人が関わります。特に官公庁案件では登場人物が多く、1物件で200人以上と打合せをした例もあります。多くの人の想いを受け止めることにプレッシャーを感じますが、完成後に訪れた人たちの喜ぶ光景を想像することを、設計を進めていくうえでの活力にしています。

三谷 当社は構造設計から始まった会社で、他の設計事務所との協働による協力業務を長く手掛けてきており、そちらでは規模の大きな庁舎の経験も数多く



持っています。現在は、その経験を生かして「元請けとして挑戦しよう」というビジネスモデルに取り組んでおり、今回の事例のような成果が出たことをうれしく思います。元請けであれば、お客様と直接話すことも多くなり、元請けならではの悩みも生まれますが、そういった経験は必ず財産になると思います。



小田 私は今回、入社2年目で、何もかも手探り状態での経験となりました。まだまだ上司にわからないことを聞くことが多いのですが、より多くの経験を積んで、より

大きな案件にも取り組んでいきたいと思っています。
竹本 私は設計業務は「サービス業」だと思っています。その建物が建った後に、人々がどう過ごすのか、どんな体験ができるのかを意識して設計することを大事にしたいと思っています。吹田消防署の事例でも、駅のホームから消防訓練が見えることをきっかけに、市民の方が興味を持ち、その訓練に参加するなど、建築物を通した新しい価値の創造を目指しています。建築物が建つことは、その街の風景や環境を変えるだけでなく、新たな体験が生まれ、新たな時間を生み出す場所となりますから、そこにどれだけ「豊かなもの」を提供できるかは、設計者自身の豊かな経験や体験にかかってくるのだと思います。「豊かなもの」を提供できるよう幅広く体験を重ね、感性を養っていこうと思います。

加藤 私はBIM統括室所属ですので、BIMの視点で話します。吹田の事例はBIM推進室(現BIM統括室)が始まった当初の案件で、わからないことが多い中、手探りで進めた感じがありました。

周辺敷地を主に作ることが私の仕事で、その後外観や照明の検討にも携わってきました。現在では風の流れや熱のこもり方などの「環境シミュレーション」も実施しています。建物はそれ単体で存在するのではなく、周辺環境と共存しています。それらを前もってシミュレーションするツールとして、BIMの優位性があると思っています。

若いうちの経験は 設計の原動力になる

—学生の皆さんに対するメッセージをお願いします。

三谷 「あい設計」のホームページに「構造に強い」というキーワードがあります。就職説明会などの場で、学生の皆さんからの質問として「構造が得意じゃないと駄目ですか?」と聞かれることが多くあります。確かに「あい設計」は構造設計事務所としての歴史が長く、全国的に見ても技術力も知名度も高い会社ですが、現在は総合設計事務所として、



意匠や設備の設計部署もありますし、構造設計のスタッフも他部署との共同作業で設計を進めています。それ故に「構造が苦手な人こそ向いている」といつも答えています。得意だから、苦手だからということよりも、興味のある分野があって、それに取り組もうという気持ちがあれば、やりたいことを実現しやすい環境だと思います。

神田 会社の特徴として、若いうちから第一線で様々な案件に関われる職場であることは大きいと思います。自分自身が設計した建物が実際に建って、それを目にする達成感を得られます。入社後早い段階でそれを味わえることは、その後の成長にも資すると思います。これまでの事例をホームページで見ただけで、実際にそれをやってみたいという方が増えると、さらにやりがいのある「様々なことができる会社」になると思います。ぜひチャンスを掴んで切り開いてほしいです。

小田 私の場合は構造設計ですが、結構早い段階で実践を経験できました。さすがに入ってくるだけではありませんが、ある程度の期間経験を積めば「この案件、担当してみない?」と言われてもらえるのは、経験として大きいです。もちろん、ただ任せるのではなく、上司が指導したり、見守ってくれたりしているわけですが…。それと、これは大阪支社の特徴かもしれませんが、自主的に「これが担当したいです」と手を挙げると、担当させてもらえるケースが多いので、若手の意見が尊重される職場だと思います。



加藤 入社後に「学生時代に経験して良かった」と、感じたことがあるので紹介します。新卒で入社後、1年間に実際の建築物の提案書を作成する機会



が2回ありました。それまでは設計事務所に入ると、設計図を書くことが主体だろうと思っていましたが、実際にはコンセプトなどの文章を書く機会がかなり多くあります。学生時代、教授に指導いただいて論文作成を結構頑張ったことが、今に生きています。建築には「伝える力」も必要ですから、ぜひ学生時代に文章力の向上にも打ち込んでみてください。

佐藤 建築に限らず、自分の引き出しを増やす努力が重要だと思っています。常に幅広く興味を持ち、どんな小さなことも「どうしてだろう」と疑問に思うことで、自分自身の引き出しが広がります。また、私の持論ですが「自分の好みを知る」ことも大事だと思っています。「このデザインが好きだな」と思ったら、なぜ良いと思ったのかを分析します。好きだと感じた理由を分析できると、自分好みのデザインがしやすいし、



携わる案件にも自分ならではの独自性が出てくると思います。

竹本 大阪支社にインターンで来られる学生の皆さん、特に意匠設計を目指している学生の皆さんに、いつも伝えている言葉が2つあります。まず1つは「学生時代の残りの時間を一杯遊んでください、全力で遊んでください」ということ。もう1つは「いろんな人との繋がりを

をつくってください」ということです。「全力で遊んでください」については、意匠設計では、例えば快適な空間を知らなければ、快適な空間は設計できないと思っています。「気持ちの良い空間」を知らない人は、それを設計できない。それは机の上の勉強では身につかないもので、楽しく遊んでいる中で、必然的に自分の経験として身につけていきます。たくさん遊んで幅広い感性を身につけることをお勧めします。「人との繋がり」については、人の環を広げることは、学生時代の特権だと思います。社会人になると、社会人同士の関わりはあっても、友達を増やすことはハードルが



高い面があります。学生時代に、いろいろなことを共有できる間柄をつくっておくことで、就職した後に自分の知らない世界を知っている友人に相談できたり、違う業界の観点で話を聞いたりできることは、設計の仕事に役立ちます。自分の知らないこと、体験したことがないことを聞ける人脈を築いておくことは、建築設計という様々な人の暮らしを創造する仕事では、とても意味のあることだと思います。

(2022年10月27日 あい設計本社)

※イメージバースは今後変更となる場合があります。

CASE

01 下関市立大学看護学部棟(仮称)
山口県下関市

■発注者、事業者/下関市
■施工者/未定 ■竣工時期/2025年2月
■構造、規模、面積/S-5/0、約5,400㎡



下関市立大学の新規学部の校舎として予定している看護学部棟の新築案件である。リアリティのある実践的看護学の学習の場をコンセプトとして掲げており、実務に近い機器・設備を導入することとしている。計画地は、大学の構内とは離れた敷地となっているが、キャンパスイメージであるレンガタイルを採用し、デザインの継承・街並みに馴染む設計としている。周辺環境に配慮した設計とすることで、地域にも学生にも愛される建物を実現することを目標とした。

CASE

02 環境省新庁舎改修工事
東京都千代田区

■発注者、事業者/国土交通省大臣官房官庁営繕部
■施工者/大成建設株式会社 他 ■竣工時期/2024年12月
■構造、規模、面積/SRC-13/B2、約50,000㎡

本事業は中央省庁が集まる霞が関に建つ「旧日本郵政ビル(S44竣工)」を新たに環境省・原子力規制庁が入居するために改修するプロジェクトである。大規模既存ストックを利活用するため建築・設備含めた全面スケルトン改修を行う。改修にあたっては、環境省新庁舎として省エネ性能の向上を目指し、設備機器や建物の外皮性能を高めるための様々な技術を取り入れている。また、災害時対応についても、発電機による電力確保等を行い、国の中枢機関として高レベルなBCP性能を確保している。



CASE

03 池袋二丁目用地建物(仮称)新築工事
東京都豊島区

■発注者、事業者/東京地下鉄株式会社、株式会社スーパーホテル
■施工者/鉄建建設株式会社 ■竣工時期/2024年9月
■構造、規模、面積/S-12/1、2,280.25㎡

本建築計画は、東京地下鉄(株)が所有するホテルの増築工事を行うとともに地下鉄駅舎から既存コンコースを通り、地上の道路に至る経路上に階段及びエレベーターを設置するものである。従来のスーパーホテルのデザインを基調とし、既存との調和を図りながらシンプルな形状とした。縦ラインを強調したデザインとし、入り口部の1階の基壇部は石調の塗材を採用し、コストに配慮しつつ、ホテルとしての設えを確保した。



CASE

04 世田谷区立八幡中学校
東京都世田谷区

■発注者、事業者/世田谷区
■施工者/未定
■竣工時期/2024年7月 ■構造、規模、面積/RC-2/0、1,800㎡

耐震診断の結果から一部既存建物を解体し、同じ場所に新たに教室棟と給食関係諸室を新設するプロジェクトである。建設地の地盤は振動が伝わりやすいため、解体工事において地盤振動対策を行っている。改築校舎は地域に古くから伝えられてきたさざぎょう伝説から外壁は白を基調とし、白鷺の躍動感と生徒や地域住民を迎え入れるフレームの底を設け、校舎内に憩いの場を設えるなど八幡中学校として卒業後も生徒が誇りを持てる計画とした。



CASE

05 藤村薬品
長崎県長崎市

■発注者、事業者/藤村薬品株式会社
■施工者/三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社
■竣工時期/2024年3月 ■構造、規模、面積/S-2/0、5,073.53㎡



127年の歴史を持つ医療品・医薬品の流通業を中核とした企業の本社社屋・物流施設建替え事業である。安全性、効率かつ機能性を考慮したスムーズな物流動線の確保、非常時においても業務を継続できる施設整備を行い、「地域社会の人々の健康に奉仕する」企業の、地域により密着した物流拠点となることを目指す。また太陽光発電や雨水利用、デシカント空調を採用することで省エネに配慮し、かつ社員の快適な執務環境を実現する。

CASE

06 広島市似島臨海少年自然の家(仮称)
広島県広島市

■発注者、事業者/広島市
■施工者/河井建設工業株式会社 ■竣工時期/2024年3月
■構造、規模、面積/RC-2/0、約1,500㎡ 他

似島にある自然の家は、島内で最大の集客力を有する施設であり、その有効活用は人口減少や高齢化が顕著である似島の活性化に資するものとして期待されている。ビュッフェ形式での提供が可能な食堂・厨房や企業研修の受け入れを可能とする研修室、一室最大14名で泊まることのできるコテージ、似島発祥のパウムクーヘンづくりも体験できる炊飯テラス等の新設、浴室の改修等、魅力的な施設の整備により似島の活性化に貢献することを目指した。



これらの作品は、皆さんの入社前後の時期(2024年4月)に施工中もしくは竣工予定の施設です。また、各施設のイメージは設計中もしくは施工中のものであり、竣工時には変更になる可能性があります。

Stories

あい設計では、入社歴に関わらず、早い段階から大きな仕事を手がけます。上司や同僚のアドバイスを受けながら、現場で考え、そして現場で磨かれる。現在進行形のプロジェクトについて、先輩たちに語っていただきました。

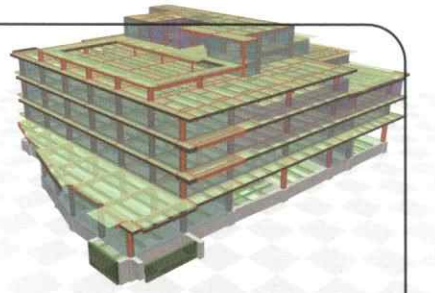
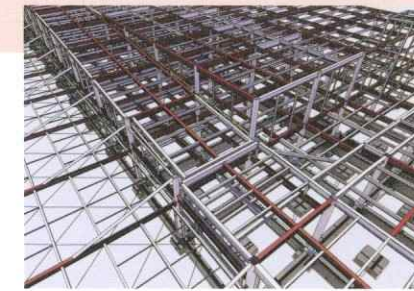
先輩が「今携わっている仕事」をご紹介します。



理想の設計者を目指して

入社2年目に入った現在は、先輩社員の下で図面作成や電算用のモデルを組み立てる作業を主に行っています。また、最近ではBIM社内研修という形でS造2階建て工場のBIMを使った図面作成を担当しました。入社したての頃は、右も左も分からず不安な

気持ちで仕事をしていたのですが、意欲的に関係規定や図書などを読み、とにかく調べることで、それでも分からないことがあれば、先輩や上司に素直に聞くことで少しずつ分かること、できることが増えていき、漠然とした不安も解消され、今では楽しく構造設計の仕事をしています。



な設計判断ができる構造設計者を目指します。



NAVA SHUNSUKE

02 STORY

構造設計 / 埼玉支社
納谷 駿介
2021年入社

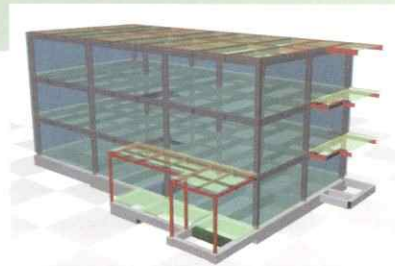


多角的な検討を

現在、私はS造の事務所や工場・倉庫などの設計業務に携わっています。入社当初からS造の設計に多く関わってきましたが、業務の内容も1年目と比べると二次部材の設計だけではなく、雑検討や本体架構の設計、申請業務など、徐々にできることが増えていき、忙しくもありますが、設計の楽しさも感じています。また、客先や現場からの質疑に対応することもあるため、質疑に対して自分の考えをまとめて、それを相手に分かりやすく伝えることの難しさも感じています。検討を行い、図面や計算書



の上では問題ない設計だと思っても、現場で施工を行う際には上手くない部分もあり、勉強することが山積みだと痛感しています。まだまだ未熟ではありますが、実際に建物ができあがっていくことをイメージしながら、一つのやり方に捕らわれず、多角的に検討を行い、より良い設計を行っていきけるよう日々精進していきたいと思っています。

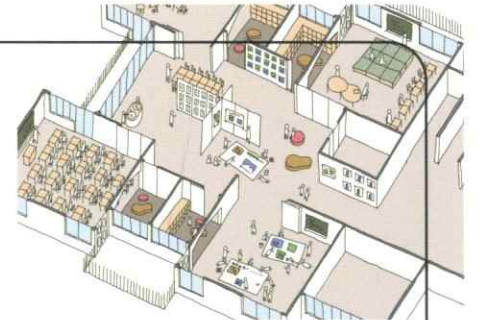


環境、社会に配慮した丁寧な仕事を

現在、小学校の改修・設計業務に携わっています。最近の小学校は、廊下がなく学校全体が学びの場で、地域にも開放するので、開放/閉鎖ゾーンの強弱をしっかりと出すこと、児童の多様な活動を生み出せる小学校はどのような

ものなのか何度も打ち合わせ、検討を重ねました。その地域に住む人々の負荷を最低限に抑えることも含めた提案をすることの難しさを感じました。建築設計は、人だけでなく環境、社会にも影響を与えるので、一つ一つの仕事を丁寧に取り組んでいきたいと思っています。入社して半年ほどですが、意見が言いやすい環境で、上司や先輩方が業務を通して建築のゼロから丁寧に教えてくださるので、毎日が吸収の日々です。

人だけでなく、環境に配慮した設計、発注者の求めにプラスαの提案ができる技術者に少し



でも近づけるよう、何事にも貪欲に挑戦していきたいと思っています。



YOSHIMURA ISANA

03 STORY

意匠設計 / 広島支社
吉村 いさな
2022年入社



KURODA KEITA

01 STORY

構造設計 / 東京支社
黒田 啓太
2020年入社



対話する力を磨き、長く親しまれる建築を目指して

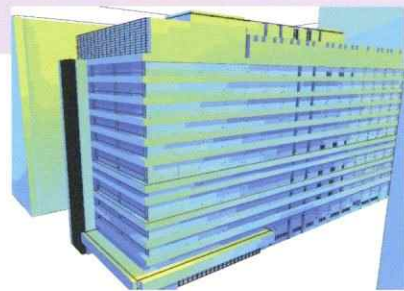


YOSHINO
YURIE

04
STORY

意匠設計 / 東京支社
吉野 有里恵
2018年入社
一級建築士(2021年合格)

入社以来、小学校、火葬場、ホテル、船の待合所、庁舎といった多様な用途に携わっています。1年目の実施設計プロポーザルから基本設計、実施設計と一連の設計業務を経験できる環境であり、やってみたい業務内容を進言すると聞き入れてもらいやすい風通しの良さを感じています。現在は、5万㎡地上13階地下2階建ての大規模庁舎改修工事の基本設計を担当しています。特に大きな物件ではチームの連携、スケジュールやコストを意識したマネジメント、構造、設備と対話する知識、調整力が必要で



日々業務を積み重ねながら勉強しています。最近では、3Dモデルを活用した環境シミュレーションによる定量データや周辺環境の景観性等を多角的に評価し、建物性能や外観を構成することにも挑戦しており、プロジェクト毎に様々な課題に直面するため、常に勉強し自分のスキルを磨いている日々です。設計チームや発注者と対話する力を磨き、長く親しまれる建築を設計できるよう精進したいと思います。



設計者として、社員として柔軟に

入社以来、庁舎を中心とした公共施設に傾倒し設計に携わってきました。バリアフリー、ユニバーサルデザインに加え素材から施設全体の恒久性も意識しつつ、その施設を訪れる人の年齢層にも応じた設計を心掛けています。近年は社会情勢の変化が目まぐるしく、皆さんの周り

でも同じく様々なことが変化していると思います。設計業界では建設資材の高騰や不足、世の中のニーズが少しずつ変化しており、数か月先も読めない中で設計を進めている一方、良い変化もあります。オンラインでの打ち合わせが広く浸透したことで、発注者との打ち合わせも気軽に行えるようになりました。業務内容だけでなく、社内環境下でも常に変化があります。近年では働き方や制度に変化があり、テレワークや時差出勤をする人も増えました。時代や環境の変化に合わせて会社も変化をしています。数年の間で社会情勢が大きく動き、建築業界だけでなく会社として設計者として、よりよい方向へ



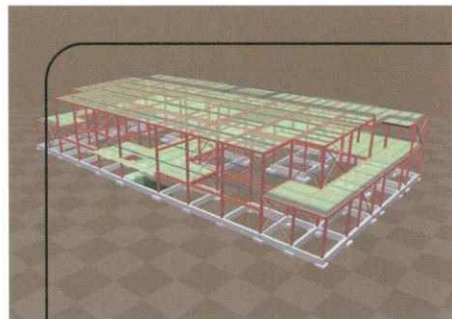
シフトできるよう、この先起こる変化にも柔軟に対応できる能力を養っていききたいと思います。



SHIMAZU
SUSUMU

06
STORY

意匠設計 / 広島支社
島津 奨
2019年入社



培った知識と経験をスキルに

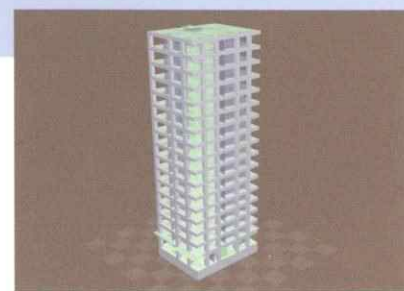


UCHII
ISSA

05
STORY

構造設計 / 名古屋支社
内井 一茶
2020年入社

私は入社以来、主としてマンションを、その他診療所やショールーム、テナントビルなどの設計に携わってきました。最初は構造図作成から始まり、今では柱や梁の主架構を設計するようになりました。現在はS造3階建ての倉庫兼研究施設を設計しています。3年目にして初となるブレース構造の建物で、力の流れなどから勉強しながら取り組んでいます。最初は不慣れなS造かつ大型物件のため、大変な緊張と不安を感じながら業務を進めていました。しかし、二次部材や基本的な力学の考え方など、学生時代や1、2年目で



培った知識と経験を生かして取り組める部分もあり、設計できるということに自信と嬉しさが湧いてきました。最近はこの考え方で架構や断面を決定することが増え、そこにやりがいと責任を感じています。新しいことに積極的にチャレンジするとともに、今まで学んできたことは確実にスキルとして身につけ、次の設計に生かせる設計者を目指します。



自身の成長を自信に繋げる

現在、木造の官庁施設と宿泊施設の設計業務に携わっています。元々、木造建築に興味があり、木造の構造設計に関わってみたいと上司に相談していたところ、木造物件に携わる機会をいただきました。入社当初からS造の倉庫や事務所、RC造のマンションなど様々

な用途の物件を経験してきましたが、実際に木造建物の設計に携わってみると、初めてのことでわからないことも多く、RC造やS造とは異なる部分が多いため不安もありました。まずは基本的なところから勉強し、わからないところは調べたり、上司に相談したりして進めています。初めて挑戦する木造建物の設計で勉強や試行錯誤の日々ですが、理解できていなかったことが理解できるようになったり、以前はつまづいて検討や作図に時間がかかっていたことが効率的に進められるようになると、少しずつレベルアップしていると感じ、やりがいや自信に繋がっています。これからも様々な構造



種別や用途の建物の設計に挑戦し、技術や知識を身に付けていきたいと思っています。



EGUCHI
HONAMI

07
STORY

構造設計 / 九州支社
江口 穂南
2019年入社

社員研修

当社は、個人のスキルや専門分野に合わせて段階的に研修を実施しています。
また、人間形成にも重点をおき、責任感と行動力のある社員育成に力を入れています。



新入社員研修

- 1 先輩社員による経験談
- 2 ビジネスマナー、ビジネスコミュニケーション研修
- 3 コンプライアンス、ハラスメント、情報セキュリティ研修
- 4 CAD基本操作講習
- 5 設計演習
- 6 オリエンテーション



初級技術者研修

- 1 社外講師による講演会
- 2 コンプライアンス、機密情報保護研修
- 3 計画実習
- 4 キャリアプラン研修
- 5 基本技術力向上研修
- 6 成果報告会



中級技術者研修

- 1 社外講師による講演会
(例：スーパーゼネコンのトップ技術者)
- 2 メーカーの専門家講義
- 3 マネジメント研修
(労務・財務管理研修)
- 4 キャリアアップ研修
- 5 専門技術力、計画力向上研修
- 6 意見交換会(ディスカッション)



上級技術者研修

- 1 社外講師による講義
(例：世界的に著名な構造設計事務所のトップ技術者)
- 2 マネジメント研修
(労務・財務管理研修)
- 3 スピーチ力強化研修
- 4 コンサルティング強化研修
- 5 専門技術力向上研修
- 6 意見交換会(ディスカッション)

初級技術者研修を終えて

設計プロセスやデザインの伝え方を見直す機会となりました。

担当物件を題材としながら、社外講師を招いてコンセプトを構造デザインに落とし込むまでの設計プロセスに関する議論を行いました。ストーリー性のある理想的な建築のカタチを生み出すために、頭の中のイメージを積極的に言葉やスケッチで表現し、設計チーム内で計画の方針を共有することの大切さを再認識しました。

広島支社 / 松岡 彩果



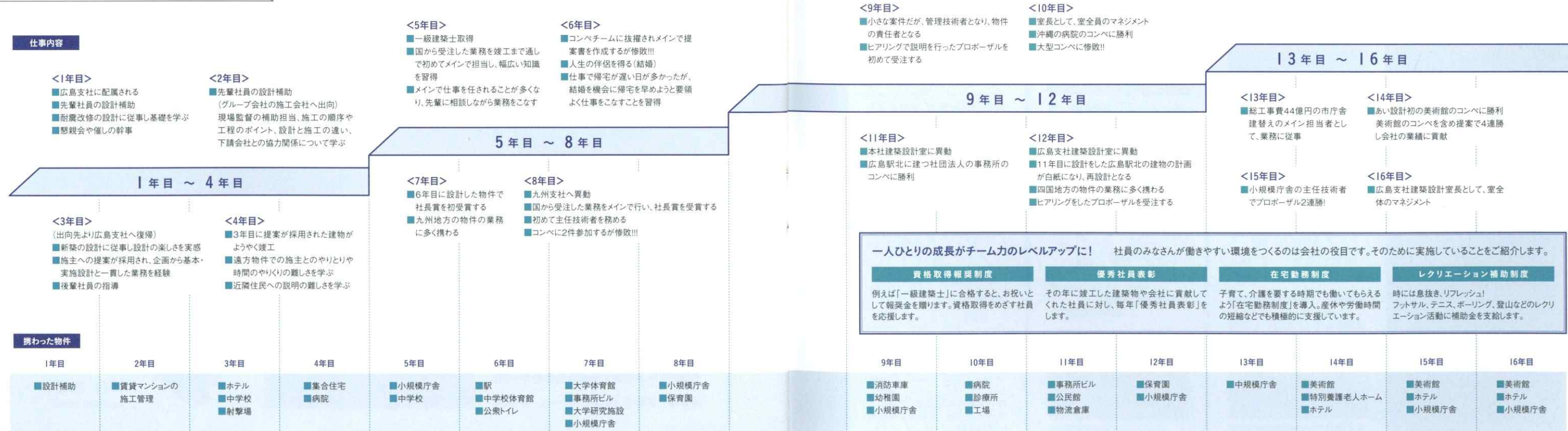
講演会や同世代の社員との交流を通して多くの学びを得た研修でした。

社外講師による講演会では、他社の優れた技術者の経験談を聞く貴重な経験ができ、技術的な面だけでなく設計者としての心構えも学ぶことができました。また、意匠・構造・設備を交えた計画実習では、同世代の社員が磨いてきた技術を間近で感じ、自己のスキルを見つめなおす良い機会になりました。

名古屋支社 / 北川 鉄也



Aさんの例 ステップアップフロー



HISTORY

沿革

1979

広島県呉市に一級建築士事務所塩見建築構造設計事務所を開設(創業)

1980

塩見建築構造設計株式会社設立(本社:広島県呉市宮原三丁目8番3号)
呉事務所(現 呉支社)開設

福山事務所(現 福山支社)開設

東広島事務所開設

九州事務所(現 九州支社)開設



呉本社ビル

1981

本社移転(広島県呉市宮原四丁目4番13号)

広島事務所(現 広島支社)開設

1983

日本海中部地震

大阪事務所(現 大阪支社)開設

岡山事務所(現 岡山支社)開設

1984

東京事務所(現 東京支社)開設

1985

東広島事務所を広島事務所(現 広島支社)に統合

北九州事務所開設

1987

名古屋事務所(現 名古屋支社)開設

北九州事務所を九州事務所(現 九州支社)に統合

1988

神戸事務所開設

1989

横浜事務所開設

1991

本社移転(広島市中区中島町3番20号)

1993

北海道南西沖地震

商号を株式会社塩見設計に変更

1994

北海道東方沖地震

1995

兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)

神戸事務所閉鎖(阪神・淡路大震災の被害のため)

横浜事務所を東京事務所(現 東京支社)に統合

神戸事務所再開設

1996

「建築物の耐震改修の促進に関する法律」(平成7年12月25日施行)が制定され、地震による建築物の安全性を診断する耐震診断分野に進出

本社移転(広島市南区西蟹屋一丁目3番2号)

札幌事務所(現 札幌支社)開設

仙台事務所(現 仙台支社)開設

1999

製造設備分野の建築物の設計に本格的に進出



広島本社ビル

2000

鳥取県西部地震

本社移転(広島市東区上大須賀町10番16号)

廃棄物処理分野の建築物の設計に進出

2001

芸予地震

2002

商号を株式会社塩見に変更
事務所を支社、営業所を事務所へ組織変更

2003

十勝沖地震

川崎事務所開設

大阪証券取引所市場第二部に上場

2004

新潟県中越地震

埼玉支社開設

株式会社塩見ホールディングスを持株会社として設立し全株式を移転

横浜事務所(現 横浜支社)再開設

2005

山口支社開設

2006

新潟事務所(現 新潟支社)開設



福岡市うつみ市民交流センター

2007

大分事務所(現 大分支社)開設



安芸府中生涯学習センターくすのきプラザ

2008

四国事務所(現 四国支社)開設

2009

設計事業部門を持株会社あいホールディングス株式会社(東証プライム市場上場)の傘下である株式会社塩見設計に事業譲渡

株式会社田辺設計(横浜市)を株式取得により連結子会社化



社会福祉法人三篠会
高齢者福祉施設神楽坂

2010

鹿児島支社開設

商号を株式会社あい設計に変更



埼玉県本庁舎耐震改修

2011

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)

高知事務所開設



国立病院機構岡山医療センター西棟



公務員宿舎津田沼住宅 PFI

2012

高松事務所開設



安芸高田市葬斎場あじさい聖苑



中国労働金庫本店

2016

熊本地震



所沢市こどもと福祉の未来館

2017



安芸太田町立戸内河内小学校

2018

北海道胆振東部地震



世田谷区立下北沢小学校



宇和島市スポーツ交流センター

2019

株式会社根津設計(松山市)を株式取得により子会社化



四国中央市市民文化ホール



TOTO宮島おもてなしトイレ

2020



尾道市因島総合支所



廿日市市宮島まちづくり交流センター



警視庁四谷警察署

2021

金沢支社開設



広島大学フェニックス国際センター
ミライクリエ



都立東久留米特別支援学校

2022



江東区立第二大島中学校



ホーコス株式会社本社ビル

会社概要

会社商号／株式会社あい設計

本社所在地／〒732-0056 広島県広島市東区上大須賀町10-16 TEL:082-506-0403

創業／1979年5月

設立／1999年11月

資本金／4,500万円

決算期／6月

支社所在地	支社	〒	住所	TEL
札幌	支社	〒060-0808	北海道札幌市北区北8条西4-1-1パストラルビルN8 801	TEL:011-700-5864
仙台	支社	〒980-0802	宮城県仙台市青葉区二丁目10-20イマス二丁目ビル3F	TEL:022-722-5112
埼玉	支社	〒330-0802	埼玉県さいたま市大宮区宮町4-138金周ビル6F	TEL:048-643-0403
東京	支社	〒136-0071	東京都江東区亀戸2-26-10立花亀戸ビル4F	TEL:03-5836-7810
横浜	支社	〒231-0048	神奈川県横浜市中区蓬萊町2-4-1関内トーセイビルⅢ8F	TEL:045-262-8090
新潟	支社	〒950-0911	新潟県新潟市中央区笹口1-26-9大和地所新潟笹口ビル5F	TEL:025-247-8421
名古屋	支社	〒464-0075	愛知県名古屋市中区千種区内山3-31-20今池NMビル8F	TEL:052-217-8788
金沢	支社	〒920-0031	石川県金沢市広岡1-1-35金沢第二ビル4F	TEL:076-260-1640
大阪	支社	〒530-0047	大阪府大阪市北区西天満5-1-9大和地所南森町ビル2F	TEL:06-6366-0241
岡山	支社	〒700-0023	岡山県岡山市北区駅前町2-5-24JR岡山駅第2NKビル7F	TEL:086-231-0212
福山	支社	〒721-0955	広島県福山市新瀬町6-10-37	TEL:084-953-8415
広島	支社	〒732-0056	広島県広島市東区上大須賀町10-16	TEL:082-506-0403
呉	支社	〒737-0051	広島県呉市中央2-5-2NSビル	TEL:0823-25-6655
山口	支社	〒754-0002	山口県山口市小郡下郷793-3中央ビル	TEL:083-972-5506
四国	支社	〒790-0053	愛媛県松山市竹原2-13-24ハイシティ松山別棟201	TEL:089-947-0160
九州	支社	〒810-0011	福岡県福岡市中央区高砂1-11-1福岡ゼネラルビル5F	TEL:092-526-4766
大分	支社	〒870-0046	大分県大分市荷揚町3-1いちご・みらい信金ビル7F	TEL:097-548-5671
鹿児島	支社	〒892-0847	鹿児島県鹿児島市西千石町1-32Wビルディング西千石町6F	TEL:099-216-3070

事務所所在地	事務所	〒	住所	TEL
高松	事務所	〒761-8058	香川県高松市勅使町1299ホワイトビル2F	TEL:087-815-1003
高知	事務所	〒780-0981	高知県高知市一ツ橋町2-53-2	TEL:088-820-5553

関係会社	〒	住所	TEL
株式会社田辺設計	〒231-0048	神奈川県横浜市中区蓬萊町2-4-1関内トーセイビルⅢ8F	TEL:045-250-0715
株式会社根津設計	〒790-0053	愛媛県松山市竹原2-13-24ハイシティ松山別棟201	TEL:089-987-7811

東証一部上場、あいホールディングス株式会社のグループ企業です。

〈役員構成〉

代表取締役会長 佐々木秀吉

代表取締役社長 清水憲典

専務取締役 設計事業本部長 浦上義久

常務取締役 営業統括部長 堀見睦幸

取締役 設計事業本部長兼 構造設計統括部長 日浦治彦

取締役 プロジェクト企画部長 津田孝二

監査役(非常勤) 渡邊康直

〈執行役員〉

技術コンサルティング部長 町田道俊

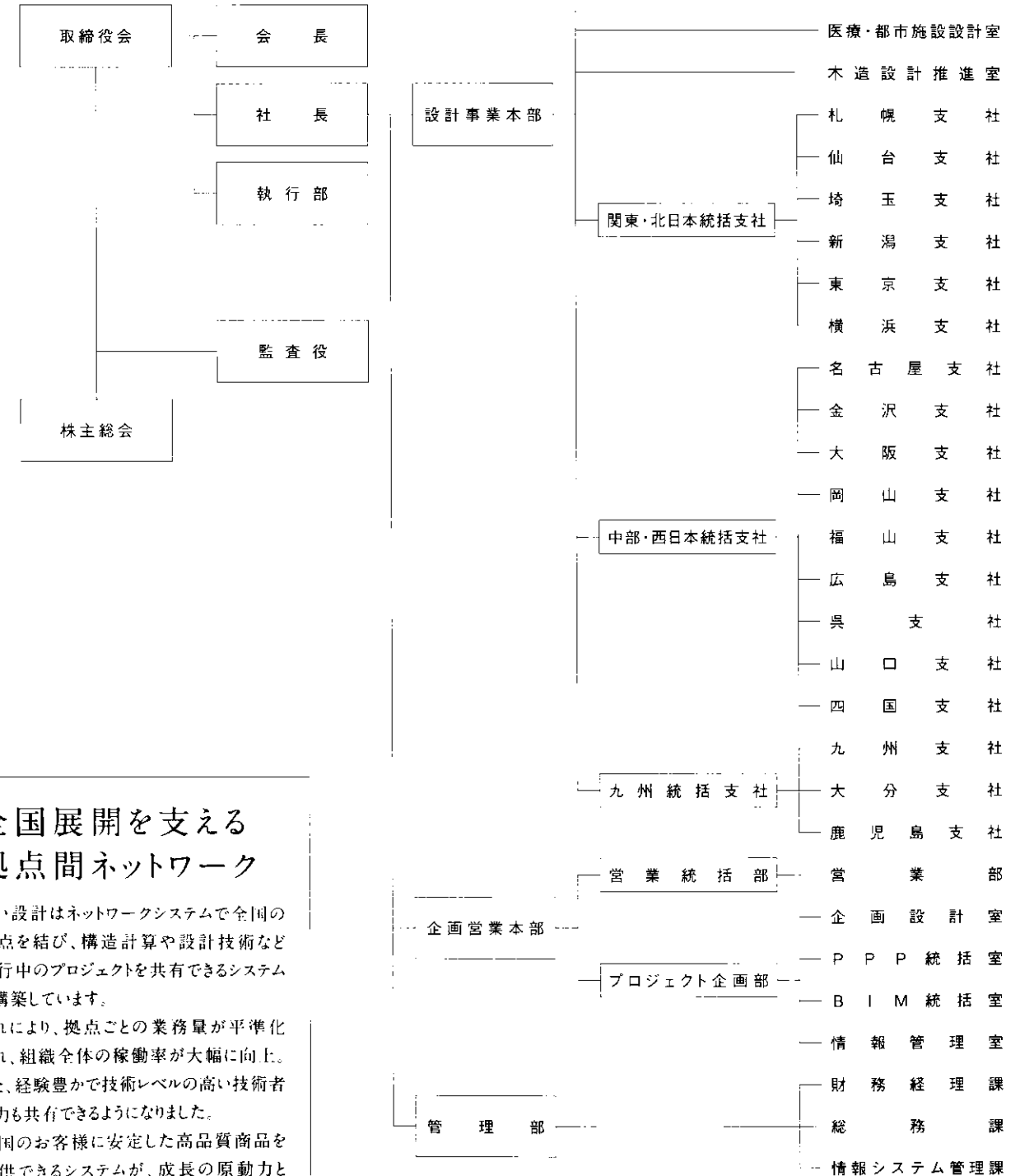
関東・北日本統括支社長 兼 プロジェクト企画副部長 山田隆一

中部・西日本統括支社長 兼 総合設計統括部長 金崎博之

九州統括支社長 前田隆志

環境設備設計室長 甲斐千晴

組織図



全国展開を支える 拠点間ネットワーク

あい設計はネットワークシステムで全国の拠点を結び、構造計算や設計技術など進行中のプロジェクトを共有できるシステムを構築しています。

これにより、拠点ごとの業務量が平準化され、組織全体の稼働率が大幅に向上。また、経験豊かで技術レベルの高い技術者の力も共有できるようになりました。

全国のお客様に安定した高品質商品を提供できるシステムが、成長の原動力となっています。



🌐 <https://www.aisekai.co.jp>

✉ recruit@aisekai.co.jp



【採用情報サイト】